

第28回全国選抜高校テニス大会

ドリーム枠校選考理由

第28回全国選抜高校テニス大会選考委員会

◆ 男子

高崎高等学校（群馬）（初出場）

群馬県内では、常にベスト4以上の結果を残している強豪校である。特に今年は、傑出した選手がいない中、出場した選手が協力しあって優勝を勝ち取った。実力校がひしめく関東地区で全国選抜出場の夢を現実にした。

灘高等学校（兵庫）（初出場）

初心者から学校の部活動で育てた選手が毎年のように県内ベスト4を確保している。高いレベルでテニスとの文武両道を追求している。阪神・淡路大震災の復興10周年の今年、古豪が復活した。

◆ 女子

四日市高等学校（三重）（初出場）

男女120名を超える県内最大の部員数であるが、3部制の練習を取り入れるなど、様々な工夫で練習量を確保して成果を残している。地道な活動で着実に実力をつけている。

海部高等学校（徳島）（初出場）

創部2年目であるが、県内ベスト4に進出した。毎週火曜日に、「小学生テニス教室」をテニス部員が行っている。地域スポーツの活性化、過疎地でのテニスの普及に貢献している。